

# 6年生 文学的文章①

単元名：

視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合おう

教材名：

帰り道

## 1. 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
◎ 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○ 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)	◎ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)	○ 進んで登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことについて考えを伝え合うことができる。

## 2. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(知・技(1)カ) ② 比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(知・技(1)ク)	① 「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(思・判・表C(1)イ)	① 進んで登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことについて考えを伝え合おうとしている。

## 3. 単元の位置づけ

教材名	児童の学習経験や、初出の学習用語
5年 銀色の裏地	人物の心情や人物どうしの関わりを読む。
5年 たずねびと	物語の全体像をとらえて読み、考えたことを伝え合う。
5年 やなせたかしーアンパンマンの勇気	伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流する。
5年 大造じいさんとガン	物語の魅力を伝える文章を書く。
6年 帰り道	視点や作品の構成に着目して読む。
6年 やまなし	作品の世界を想像しながら読む。
6年 ぼくのブック・ウーマン	物語を読んで考えたことを、自分の生活や読書経験と結びつけてまとめ、語り合う。
6年 海の命	それぞれの人物の生き方に対する考えを話し合う。

4. 単元の指導と評価の計画（全8時間）

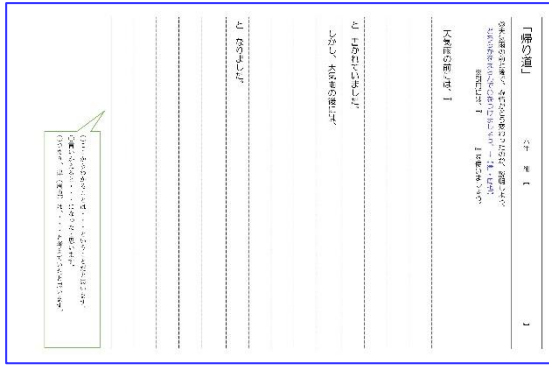
次	時	主な学習内容と指導上の留意点	評価規準・評価方法等 【B】 おおむね満足できる状況																	
<p>■導入段階 <b>I</b> 「2つの視点から書かれた物語を読み、作品の面白さや構成の工夫について印象に残ったことを説明しよう。」という学習課題をとらえ、本文を読む。【態】</p>																				
第一次	1	<p>○題名やリード文をもとに、どんな文章か想像する。</p> <p>○「視点」について考える。</p> <p>○学習課題を確かめ、ゴールへの見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;学習課題&gt; 2つの視点から書かれた物語から「人物像」を見つけ、作品の面白さや構成の工夫について印象に残ったことを伝え合おう。 ～視点を変えた「キャラクターブック」を考えよう!～</p> </div> <p>○通読し、物語文の基本事項を確認していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物は？      ・中心人物は？</li> <li>・出来事は？      ・1文であらすじを書くと…</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">「A（中心人物）がB（出来事）によって（結末）になる話」</p> <p>○初発の感想をもつ。（どちらの人物に共感したか）</p>	<p>・文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</p>																	
	<p>■展開前半 <b>II</b> 展開に沿って、2人の心情を比べる。【知・技①②】【思・判・表①】</p>																			
第二次	2 3	<p>○展開に沿って比較することで、同じ出来事に対する「律」と「周也」のそれぞれの捉え方や心情を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対比させながら「律」と「周也」の心情を記述する。</li> <li>ひととおりの意見を出してから、時系列で分けてみる。</li> <li>・比喩表現にも着目させ、どんな心情を表しているか考える。</li> </ul>	<p>・同じ出来事に対する2人の捉え方を、対比できる形で見つけている。</p>																	
	<table border="1" data-bbox="248 1070 1153 1727" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">天気雨が降り過ぎた後</td> <td style="width: 25%;">天気雨が降ったとき</td> <td style="width: 25%;">だまりこんで歩くとき</td> <td style="width: 25%;">昼休み「どっちが好き」の話</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>・分かってもらえた気がした</td> <td>・何かを洗い流した</td> <td>・返事をしないぼくに白けたのか</td> <td>・テンポについていけない</td> <td>1 律</td> </tr> <tr> <td>・律の言葉をちゃんと受け止められたのかもしれない</td> <td>・無数の白い球がぼくがむだに放ってきた球の逆襲</td> <td>・考えたとたん、舌が止まった</td> <td>・律にじりじり ・軽くつこんだつもり ・まずい、と思うも ・ ・</td> <td>2 周也</td> </tr> </table> <p>○ここまで読み取った描写から、「言葉」や「言葉にすること」に対する2人の思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「律」「周也」それぞれの視点から端的に記述する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="277 1895 1153 2136" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">周也</td> <td style="width: 50%;">律</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの言葉は軽すぎる</li> <li>・ピンポン玉</li> <li>・ちんもくが苦手</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことをうまく言えない</li> <li>・すぐに立ち止まってしま</li> <li>う</li> <li>・みぞおちの辺りが重くなる</li> </ul> </td> </tr> </table>	天気雨が降り過ぎた後	天気雨が降ったとき	だまりこんで歩くとき	昼休み「どっちが好き」の話		・分かってもらえた気がした	・何かを洗い流した	・返事をしないぼくに白けたのか	・テンポについていけない	1 律	・律の言葉をちゃんと受け止められたのかもしれない	・無数の白い球がぼくがむだに放ってきた球の逆襲	・考えたとたん、舌が止まった	・律にじりじり ・軽くつこんだつもり ・まずい、と思うも ・ ・	2 周也	周也	律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの言葉は軽すぎる</li> <li>・ピンポン玉</li> <li>・ちんもくが苦手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことをうまく言えない</li> <li>・すぐに立ち止まってしま</li> <li>う</li> <li>・みぞおちの辺りが重くなる</li> </ul>
天気雨が降り過ぎた後	天気雨が降ったとき	だまりこんで歩くとき	昼休み「どっちが好き」の話																	
・分かってもらえた気がした	・何かを洗い流した	・返事をしないぼくに白けたのか	・テンポについていけない	1 律																
・律の言葉をちゃんと受け止められたのかもしれない	・無数の白い球がぼくがむだに放ってきた球の逆襲	・考えたとたん、舌が止まった	・律にじりじり ・軽くつこんだつもり ・まずい、と思うも ・ ・	2 周也																
周也	律																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの言葉は軽すぎる</li> <li>・ピンポン玉</li> <li>・ちんもくが苦手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことをうまく言えない</li> <li>・すぐに立ち止まってしま</li> <li>う</li> <li>・みぞおちの辺りが重くなる</li> </ul>																			

4

○天気雨の前後で、二人の心情はどう変わったのか、複数の表現を関連づけて考える。

- ・繰り返し出てくる「みぞおちの…」や、「ざざっと水が…」などの表現に着目して、「律」か「周也」の心情の変化について記述する。

**条件** ・『 』で引用する ・引用からわかったことを書く



・描写の変化を根拠にして、心情の変化につなげて書いている。

■展開後半 Ⅲ—1 叙述を比較しながら、「律」と「周也」の人物像を考える。 【思・判・表①】

5

○「律」と「周也」は、どのような人物か考える。

- ・それぞれが思う自分自身について書かれた文を見つける。
- ・「律」から見た「周也」、「周也」から見た「律」について書かれた文を見つける。
- ・人物像について、描写を対比させながらキャラクターブックに記述する。

**条件** ・叙述に基づいている ・律から見た視点と周也から見た視点を対比させる ・比較して思ったことを書く

**【周也】が思う自分自身**

- ・ぼくの言葉は軽すぎる
- ・ぼんぼん、むだに打ちすぎる
- ・誰かという時のちんもくが苦手
- ・考えたとたん舌が止まった
- ・逆に、足は律から逃げるように

○初めて律の言葉をちゃんと受け止められたのかもしれない

**【律】が思う自分自身**

- ・すぐ立ち止まっちゃう
- ・思っていることが言えない
- ・「こんな」をうまく言葉にできなかった

○勇気をふりしぼった

**【律】から見た「周也」**

- ・話があちこち飛ぶ
- ・どんなこともテンポよく乗り越えてぐんぐん前へ進んでいく
- ・きよりが広がる
- ・返事をしないぼくに白けたのか

○わかってもらえなかった気がした

**【周也】から見た「律」**

- ・いつだってマイペース
- ・おっとり
- ・よゆうが見て取れる
- ・ぼくにはない落ち着きっぷり

○急にひとみを険しくしてつぶやいた

・「律」が思う自分自身、「周也」が思う自分自身、「律」から見た「周也」、「周也」から見た「律」それぞれについて、対比できる形で見つけている。


・それぞれの人物が、最後にどのように変容したのかを確認する。

本時	6	<p>○人物像を把握できたか確かめる。  <u>「行こっか。」は誰が言ったのか、また、その理由を考える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターブックにまとめた「律」「周也」の人物像や変容した叙述をもとにする。</li> </ul> <p>条件・10分 ・100字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場をはっきりさせる</li> <li>根拠にしている文を引用する</li> </ul> <p>○記述の途中で引用部分を確認し合い、書くヒントをもらったり、書き直したりする場面をもつ。</p>	<p>・文章中の描写や、読み取った人物像をもとに、理由を考えている。</p>
	<p>■展開後半 Ⅲ—2 「帰り道」以外の文学的文章を読んだり、みんながよく知っているキャラクターについて視点を改めて考えたりして、人物像をキャラクターブックにまとめる。【知・技①】</p>		
第三次	7	<p>① 2つの視点から書かれた物語を読み、登場人物の人物像についてまとめる。</p> <p>② みんながよく知っているというキャラクターについて、視点を改めて人物像を考える。(例：ジャイアン)  →①②から選び、キャラクターブックに書く。</p> <p>条件 1人の人物について、2つの視点でまとめる。</p>	<p>・同じ出来事に対する2人の捉え方や、お互いの人物像についての思いを、対比できる形で見つけている。</p>
	<p>■終末段階 Ⅳ 学習の最初と最後で、自分の考えが変わったり、気づいたりしたことを伝え合う。  【態】【思・判・表①】</p>		
8	<p>○学習の最初と最後で、自分の考えが変わったり、気づいたりしたことを考え、伝え合う。</p>		

<ワークシート「キャラクターブックを作ろう！」>

<キャラクターブックを作ろう！> 6年 組 【 1 ]

名前



# 律

「律」が思う自分自身


すぐに

「周也」から見た「律」

いつだって

<キャラクターブックを作ろう！> 6年 組 【 1 ]

名前



# 周也

「周也」が思う自分自身

ほとくの言葉は

「律」から見た「周也」

どんなことも

5. 本時の展開 (6/8)

本時の目標：比較して読み、2人の人物像について考えたことを伝え合う。

	児童の活動	教師のはたらきかけ	留意点・評価
導入	①前時の振り返りをする(3分)  ②本時のめあてを確認する。(2分)	①「律」が思う自分自身、「周也」が思う自分自身、「律」から見た「周也」、「周也」から見た「律」について書かれた文を見つけたことを確認する。  ②ラーニングマウンテンから本時の課題を確認する	
<div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; display: inline-block;">                     ≪課題≫ 「行こっか。」は、誰が言ったのだろうか。                 </div>			
展開	③誰が何と言ったか考える。(2分)  ④理由を説明するための条件を確認する。(3分)  ⑤モデリングを読み、記述のポイントを捉える。(5分)  ⑥「行こっか。」は、誰が言ったのか考え、理由を記述する。(5分)  ⑦引用部分を確認し合い、書いたことを伝えたり、書く内容で困っていることを伝えたりして、仲間と交流する(5分)  ⑧文章を完成させる。(5分)  ⑨全体で交流することで、様々な視点からの考えを知り、学びを深める。(10分)	③ まず、第一印象で「律」か「周也」を選ぶ。  ④ 3Zについて説明する。 ・100字以上で書くこと。 ・10分で書くこと。 ・自分の立場をはっきりさせること。 ・根拠となる文を引用すること。  ⑤ モデリングを示し、条件について確認する。 (引用は『 』で書く)  ⑥ 条件を示した後で、考えが変わった児童がいた場合は、それも認める。  ⑦ 交流の視点を示す。 ・どこを引用しているか  ⑧条件に合わせて書ききれるように声をかける。  ⑨ 机間巡視で見つけた特徴的な意見の児童に発表させ、意見交流させる。	・ただ読み上げるだけでなく、反応を返したり困っている仲間アドバイスを言ったりするよう声をかける。  ・文章中の描写や読み取った人物像をもとに、理由を考え、伝え合っている。 (ワークシート・交流の様子)
まとめ	⑩ 本時の振り返りをする。(5分)	⑩比較して読むことで、どんなことがわかったかを伝え合う。	



6年生

単元名【視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合おう】

教材名【 帰 り 道 】

全（8）時間

Let's climb  
the mountain  
of learning.  
学びの山に  
のぼろう！

### 学習課題（みんなで 解決したい 問い）

2つの視点から書かれた物語から「人物像」を見つけ、作品の面白さや構成の工夫について印象に残ったことを伝え合おう。  
～視点を変えた「キャラクターブック」を考えよう！～

学びの  
プラン

#### □わかること・できること

- ア 文章が誰の視点から書かれているかわかり、比べながら読むことができる。
- イ 比喻や反復など、表現の工夫を見つけることができる。

#### □考えること・表すこと

- ウ 描写をもとにして、登場人物の心情やお互いの関係がわかる。

#### □工夫して学ぼうとすること

- エ 描写をもとにして読み、思ったことをすすんで話すことができる。

- ⑧ 学習を通して気づいたことや、登場人物について とらえ方が変わったことなどを伝え合う。

#### 第3ステージ（1）時間

こんな学習をしてこんな力を！

たしかめ  
エ

- ① 学習課題を確かめる。
- ① 物語文の基本を確かめる。初読の感想を書く。

#### 第1ステージ（1）時間

こんな学習をしてこんな力を！

たしかめ  
エ

- ⑦ 「帰り道」以外の物語の登場人物について視点を替えて考え、人物像をキャラクターブックにまとめる。

- ⑥ 人物像をもとに、「行こっか。」はだれが言ったのか考える。

- ⑤ 「律」が思う自分自身  
「周也」が思う自分自身  
「律」から見た「周也」  
「周也」から見た「律」  
について書かれた文を比べながらキャラクターブックを作り、2人の人物像を考える。

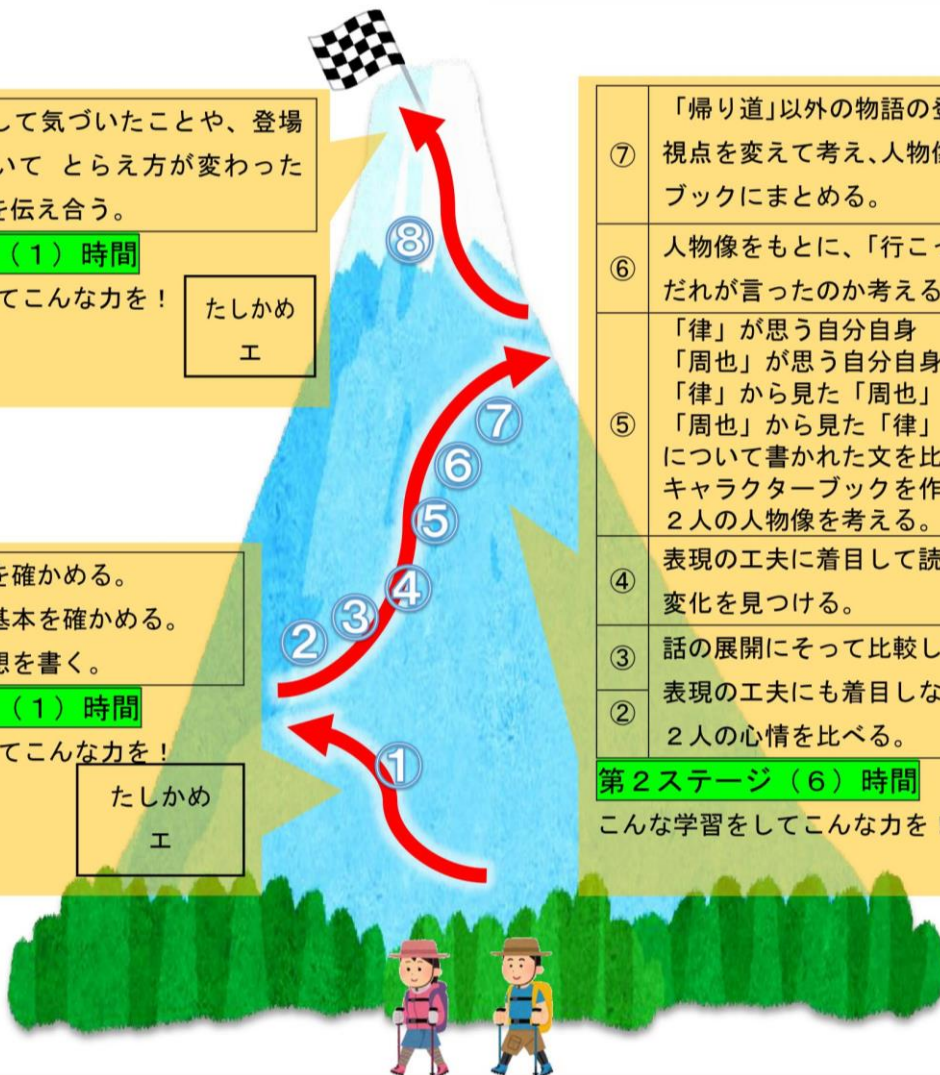
- ④ 表現の工夫に着目して読み、2人の心情の変化を見つける。

- ③ 話の展開にそって比較しながら読み、表現の工夫にも着目しながら2人の心情を比べる。
- ②

#### 第2ステージ（6）時間

こんな学習をしてこんな力を！

たしかめ  
ア・イ・ウ



この単元にかかわって これまでに知っていること・できること（前の学年や 前の単元までに）  
○人物の心情や人物どうしの関わりを読む。 ○物語の全体像をとらえて読み、考えたことを伝え合う。